

会津駒ヶ岳

期 日：7月5日（金）

参加者：M・T

コース：会津駒ヶ岳滝沢登山口9：00→駒の小屋12：50→滝沢登山口16：00

報 告：



トリアシショウマー、雪笹↓はまだ蕾。

3回目の会津駒ヶ岳。駒ヶ岳よりもその先の中門岳が好きで檜枝岐に来ると必ず初日に訪れている。今回は1週間前の富士登山の疲れが残りのんびり花を探し、天気と相談しながら歩く事にする。駐車場で降り始めた雨に、レインウエアーを着用し歩き出す。



オオカメノキの花の白は本当に綺麗。ミルク色？足元に落ちていた花びらにさえ見とれる。↓



雨にぬれるノウゴウイチゴ？↓



足元を探るようにしげしげ眺めながら歩くので少しも先に進まない。ただでさえ登れないのに疲れているのかな？





木の間越しに駒ヶ岳方面が見えるが肝心の駒ヶ岳はガスの中で見えない。何の実？ ↓



ツツジも丁度咲いているが登山道から外れているので、なかなか写真が撮れない。イワナシの花見つけ！ ↓



少し花数が淋しいがサンカヨウもすぐそばに咲いていた。 ↓
いつも歩き出したら、山頂まで行きたいと遅



いながらも歩くことに気持ちが行っているが、初めからあきらめムード？ やたらのんびりしている。体は正直だから無理はしないと、自分に言い訳しながら、一人歌を唄ったりする。今日は何故か「佐～渡～～の～荒海の岩陰に・・・。」

ひばりさんの佐渡情話である。きっと最近耳にしたのだろう。音痴でも人がいないと 楽しく歌える。ときどき道（音程）と同じで私はどこへ行けばいいのだろうと不安になりながら、楽しく歌う。しかも同じメロディの繰り返し。



拙い。梅雨前線頭上通過中か？
霧雨も止んでいたのにレイウエア-
の上着は脱いでいる。急に大降りにな
ったら困るな。着るか？
—昨年もこの先は雪渓だった。駒の小
屋の先で熊を見たのだった。

余りに勢いよくクマが雪渓を駆け下りたので
びっくりして固まっていた。先には進めず踵を
返し、駒の小屋の奥さんにそのことを告げた。
そして、先に進んで良いものかどうかを訪ねた
のだった。駒の小屋の奥さんは若くてきれいな
人で「大丈夫ですよ。会津駒で熊に襲われた人
はいませんから行っていらっしやい」と優しく意味不明のお婆ちゃんに言ってくれた。
その言葉に力をもらって中門岳迄行けたのだった。



雪渓と雪解け水が混ざり合ったヌルヌルの中を駒の小屋目指して進む。だんだん天気が怪しくなってきた。やっと見えてきた駒の小屋がガスの中で霞んでいる。↓



←目指す山頂付近は全く見えない。
今日はヤーメタ。あんな何も見えないガスの中に一人踏み出す勇氣はない。帰る道を見つけるのも大変かもしれない。早く変えろー。で今回の会津駒ヶ岳は楽しく惨敗に終わりました。

燧ヶ岳

期 日：7月6日（土）

参加者：M・T

コース：御池登山口5：41→俎峯9：37→柴安峯10：25→御池登山口13：45

報 告：尾瀬御池の駐車場をつつきりほんの少し行くと燧裏林道と別れ燧ヶ岳への登山道が有る。

初めは雪解け水が小川の流れを作るような登山道を歩く。泥濘の中、岩がゴロゴロするような所も有り滑らないように1歩1歩慎重に進む。

檜枝岐に来るのは6月中旬ばかりだったので、今回はいつもより足元の花が多い。ついついカメラタイムが増える。それでも今日は、お天気も安定しているので山頂迄行くつもりで気合が入っている。

オオイワカガミの葉が艶々としている。



水芭蕉・ツツジには少し遅すぎた。それでも山は色づき華やかになって来ている。広沢田代・熊沢田代と山上湿原を歩く。池塘が点在しオオシラビソ・ダケカンバ等を背景に湿原の花が咲く。



山開きを明日に控えて山は静かだった。



二つの山上湿原を過ぎて、また、泥濘の登山道、岩を乗り越えて進んでいく。昨日、駒ヶ岳で出会ったヤマナシの花が足元に咲いている。可憐で可愛い花だ。



淵が汚れたスプーンカットの急な登りの雪渓が、かなりの距離続く。用意不足の為軽アイゼン持参せず。訓練、訓練と雪を蹴り飛ばしてZを切って登る。登るより、ここを下りたくないな。。。。。

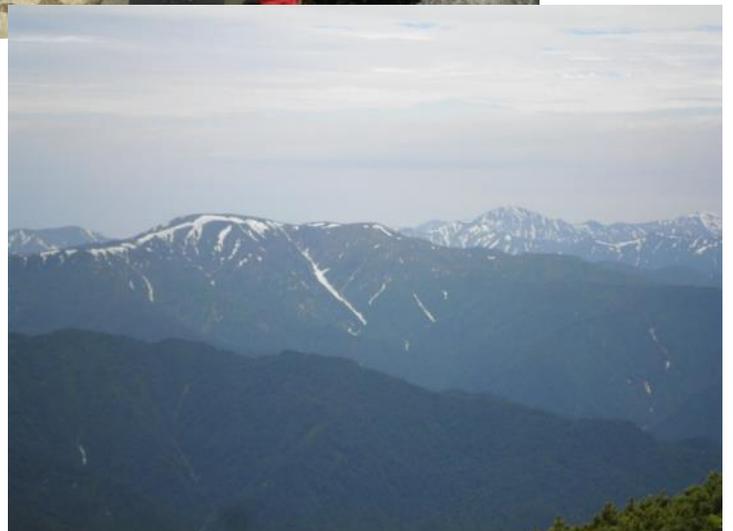
いくつかの雪渓を越えてやっと俎峯に到着。



ふきっさらしの山頂はゆっくりするには相応しくない。仕方なく柴安峯にすぐに移動する。一旦下り、登り返すとそこは燧ヶ岳山頂。沼山から登った人が多いのか、山頂にはかなりの人がいた。



山頂からの眺め。尾瀬沼↓





今回のハイキングで出会った花々。
←キヌガサソウ

キジムシロ↓



ツマトリソウ↑



タケシマラン↓



サンカヨウ↑
下りたくない雪渓を下り時間が余ったので燧裏林道で遊びこの日も終わった。

帝釈山・田代山

期 日：7月7日（日）

参加者：M・T

コース：馬坂峠登山口6：40→帝釈山7：40→田代山9：35→馬坂峠登山口12：00

報 告：



と教えてもらいながら、眺望を楽しむ。

横浜へ帰る日の朝、帝釈山・田代山に遊ぶ。田代湿原は気持ちの良い散歩コースで大好きです。6月中旬にはオサバグサがいたるところで咲いていて、それは綺麗です。

今回は同じ所から登れる台倉高山に行くつもりは無いのでゆっくりハイキングです。帝釈山まではそれなりに登りがきつく歩いた気分を味わえる。山頂は見晴しが良く山座同定には良い。生憎、天気には恵まれていない。帝釈山山頂で、先に居た単独行者にあれが平が岳？



田代山までの道は人一人がやっと通れる様な狭い登山道で気の根や短い鎖場、いきなり

ダケカンバの林等もある変化に富んだ道でした。泥濘の道に木道が作られていたり、階段があったりして町の方達の努力が忍ばれます。田代山への最後の登りは私には辛い急坂でしたが、田代湿原に着くと、その辛さも忘れホットする景色がそこに有ります。早くもアキアカネが乱舞する高層湿原に心安らぎ嬉しくなります。今日は、「夕焼け小焼けの赤とんぼ・・・」とそっと歌います。遠くに数人の散策者がいるからです。



湿原に咲く花々。



コバイケイソウとワタスゲが盛りです。→

ニッコウキスゲも明るく咲いていました。↓



サラサドウダン↓



テヤマリンドウ↓

トキシソウ↓

